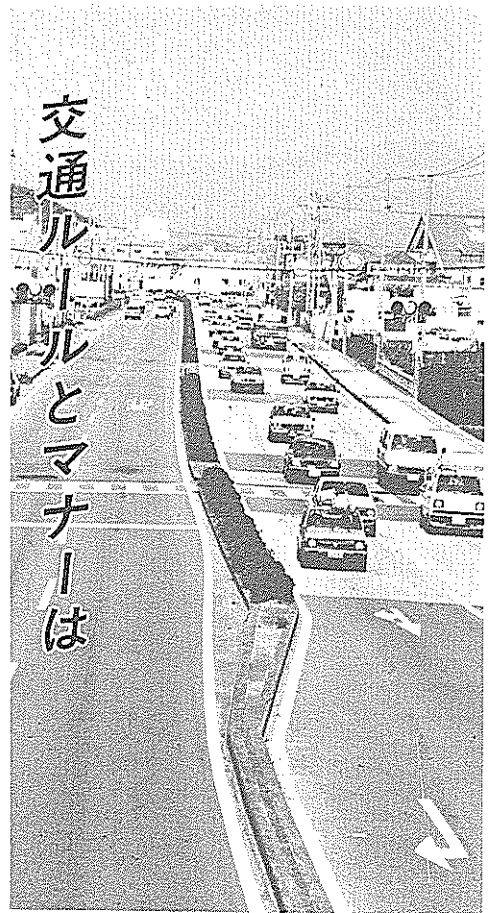




交通が多い国道55号(南国バイパス)。追突事故などが多発している

交通ルールとマナーは

みんなが守るもの

正しい交通ルールとマナーの実践を全市民的に広げようと――春の全国交通安全運動(五月十一・二十日)を数日後に控えた五月二日、市役所大会議室で「南国市交通安全市民会議」が開かれました。会議には、日頃交通安全運動に積極的に取り組んでいる交通安全協会、交通安全指導員、婦人会などの各種団体の代表、それに南国警察署、市などから約四十人が参加、この一年間の運動方針を決めました。

死者七人、傷者四百九十四人で、史上最高を記録しました。特に、国道五十五号(南国バイパス)、県道後免・野市線での、追突、右・左折時の側面衝突、出会い頭衝突などの事故が多く、全事故の四分の一を占めています。

今年は減少傾向

幸い、今年になってからは、発生件数、死者、傷者とも減少していますが、年間を通じて市民ぐるみの交通安全運動の取り組みで、この減少傾向を保って行こうという気運が高まっています。

子どもの事故防止

子どもの事故は、道路への飛び出しによるものが最も多く、しかも保育園や学校から帰って、家の周辺で遊んでいる時に多く起っています。

子どもの事故を少なくするには、なんといっても家庭での交通指導、しつけが一番大切です。家族ぐるみで、正しい交通ルールを教えてあげましょう。

シートベルト、

ヘルメットの着用推進

県下でのシートベルト着用率は運転者の約二〇%、ヘルメット着用率は約五〇%と、まだまだ低い割合を示しています。

シートベルト、ヘルメットの着用の効用は、今さら言うまでもありません。重大事故になってからでは遅過ぎます。家族で、地域で職場でシートベルト、ヘルメットの着用を推進し、習慣づけましょう。

《交通安全スローガン》

『思いやり ゆずる心で』

『防ぐ事故』

『だしがめて 渡るあなたが』

『子の手本』

『急いでも きちんと見ます』

『みぎ ひだり』



事故をなんとか減らそうと懸命の「交通安全市民会議」

制札

市役所が立ててくれた

ごみ捨て禁止の制札のまわりに

昨日は真砂を並べ

今日は藪柑子を植えた

この広場は元、稲上げ場だったが今は葉参や春秋の農事に車や機械の置き場になっている

わたしたちが三年間入院中に

制札はすたれ

ごみの山となっていた

幾十日もかかってごみを処分し

また制札を立ててもらった

私は運動がてら朝夕そこへ行き稲上げの往時を懐古し
ここだけでもごみ捨てをきりきり制札に恥をかかせたくないと思ふ

森国敬治(里改田)

